

20025 年 8 月 能登支援 報告

1 日時 令和 7 年 8 月 16 日(土)～令和 7 年 8 月 19 日(火)

2 支援場所

8 月 16 日	町野町集会所第一
8 月 17 日	町野町集会所第二・大乘寺
8 月 18 日	珠洲子ども食堂
8 月 19 日	輪島市社協

3 活動報告

(1)8 月の豪雨の影響

北陸地方に前線が停滞した影響で 8 月 12 日に能登地方を中心に雨が降り続き、土砂崩れなどの被害が相次ぎました。七尾方面で国道 249 号の路面が崩落し、現地に入る陸路が通れるのか心配になったので確認したところ、何とか行けそうでした。

現地の方と連絡を取ったところ、臨床発達心理士が行くことの期待を感じ取り、いつもより現地到着が遅れるのは申し訳ないと思いつつ、実施を決めました。



写真は北陸新聞より引用

(2)現地の様子(8 月)

豪雨の影響もあり、町野町などは 3 度目の災害であり、復興が進まない状況がみられ、前回とあまり変わらない風景を目にしました。



大乘寺近くの海辺 津波の後



珠洲の海と川が交流しているところ

(3)支援

町野町の集会所は 2 か所あります。今回から、2 か所とも訪問することになりました。そこでのサロン活動のなかで、スライム作りやゼリー作り、そして、うちわ作りを行いながら「お茶っこ」を実施しました。子どもだけではなく、お年寄りも来てくださり、様々な現状を教えていただきました。発達を専門とする私たちの活動への期待が大きく、ただ皆さまと交流するだけでも、安心感となるようでした。今後も子どもたちやお年寄りに寄り添い、定期的に通ってくる意義を感じました。

珠洲市の子ども食堂にも参加し、ここでも参加された方からお話を伺い、発達の観点から現場を見る重要性を感じることができました。最後の日に輪島市社会福祉協議会を訪れ、今後の活動についてヒアリングを行ってきました。

今後の大きな環境の変化として、令和 9 年に復興住宅が作られる予定です。仮設(集会所)は令和 8 年 1 月 11 日に切れてしまい、猶予期間が令和 9 年 1 月 11 日までであるとはいえ、今後の生活再建には困難があります。生活環境の変化に伴う心理的に大きな影響が生じる状況です。そのような状況なので、外部者が定期的に通うことの意義や、発達について専門的な知識をもっている私たちへの期待を感じました。災害支援での発達の観点には、中長期的に発達をとらえ、それを支援する視点が不可欠です。今回で 3 回目の訪問ですが、継続的にかかわる重要性を痛感することになりました。



大乘寺の祭り(灯籠流し)



集会所での制作活動

能登での支援の状況の詳細は、能登情報交換会でお話しています。ぜひ、参加ください。